

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	アスレティックトレーナー演習Ⅱ(ゼミ)		必修/選択の別	選択必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	後期 金曜3,4限	教室名	第2校舎401
担 当 教 員	中山 広基	実務経験と その関連資格	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、はり師・きゅう師 社会人ハンドボールチームHC彦根ヘッドトレーナー3年/滋賀県成年男子ハンドボール代表チームヘッドトレーナー3年 日本プライベートフットボールリーグ帯同トレーナー8年(アメリカンフットボール)			
《授業科目における学習内容》						
【基礎】①解剖②内科③外傷・障害④心理⑤栄養⑥バイメカ⑦運生⑧トレ科【応用】①ATの役割②検査・測定と評価③コンディショニング④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題						
《成績評価の方法と基準》						
1. レポート課題:70% 2. 出席点:20% 3. グループワーク中の態度・発表:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
AT教本AT教本						
《授業外における学習方法》						
指定している教科書を事前に読んでおくこと。 授業内に小テストを行うことがあるため予習復習をしておくこと(不定期)						
《履修に当たっての留意点》						
トレーナーとして現場で使える知識・技術を学ぶことで合格へ役立てる						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	アスレティックリハビリテーション問題演習			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	アスレティックリハビリテーション問題演習			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	アスレティックリハビリテーション問題演習			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	アスレティックリハビリテーション問題演習			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	基礎科目おさらい(解剖・外傷・内科・心理・栄養・バイメカ・運生・トレ科)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	基礎科目おさらい(解剖・外傷・内科・心理・栄養・バイメカ・運生・トレ科)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	基礎科目おさらい(解剖・外傷・内科・心理・栄養・バイメカ・運生・トレ科)		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	弱点対策		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	答え合わせ(客観式試験)		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	答え合わせ(客観式試験)		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	実技対策		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	実技対策		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	実技対策		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	実技対策		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	実技対策		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	アスレティックトレーナー演習Ⅱ(ゼミ)		必修/選択の別	選択必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	後期 金曜3,4限	教室名	第2校舎401
担 当 教 員	中山 広基/井上 佳子	実務経験と その関連資格	中山:JSPO-AT、はり師・きゆう師、社会人ハンドボールチームHC彦根ヘッドトレーナー3年/滋賀県成年男子ハンドボール代表チームヘッドトレーナー3年他 井上: JSPO-AT、Wリーグバスケットボール専属トレーナー3年、日本女子ソフトボールリーグ塩野義製薬女子ソフトボール部トレーナー3年、女子ラグビー15人制S&Cコーチ他			
《授業科目における学習内容》						
【基礎】①解剖②内科③外傷・障害④心理⑤栄養⑥バイメカ⑦運生⑧トレ科【応用】①ATの役割②検査・測定と評価③コンディショニング④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70% 2. レポート:20% 3. グループワーク中の態度・発表:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
AT教本AT教本						
《授業外における学習方法》						
指定している教科書を事前に読んでおくこと。 授業内に小テストを行うことがあるため予習復習をしておくこと(不定期)						
《履修に当たっての留意点》						
トレーナーとして現場で使える知識・技術を学ぶことで合格へ役立てる						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③コンディショニング④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③コンディショニング④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③コンディショニング④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③コンディショニング④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③コンディショニング④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③コンテンツ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③コンテンツ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③コンテンツ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③コンテンツ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	答え合わせ(客観式試験)		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	実技対策		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	実技対策		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	実技対策		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	実技対策		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	実技対策		